

## 海域火山の最近の活動について\*

### The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁  
Japan Coast Guard

前回（第 129 回）に報告した以後（2014 年 5 月 23 日から 2014 年 10 月 17 日）の活動状況は以下のとおりである。

#### 南方諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
手石海丘	2014/10/17	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
伊豆片瀬	2014/10/17	海上保安庁	片瀬地区北側の海岸線に沿って、約 100m、黄緑色の変色水域が分布している。
伊豆大島	2014/10/17	海上保安庁	火口付近に噴気噴煙等の特異事象は認められなかった。 変色水域は伊豆大島の海岸線に複数ヶ所認めた。乳ガ崎付近、風早崎灯台北側、小口崎付近、長根岬北側付近、長根岬南側、黒崎北側、筆島付近（写真 1）、トウシキの鼻西側（写真 2）、二つ根から千波崎の 2 カ所、千波崎付近及び元町港付近に薄黄緑色の変色水域を認めた。
利島	2014/10/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
利島	2014/10/17	海上保安庁	コシダ崩れ付近に海岸線に沿って底辺約 250m 幅約 300m の三角形の薄黄緑色の変色水域を認めた。
新島	2014/10/17	海上保安庁	高根から前浜の海岸線に沿って、幅約 50～200m で青白色の変色水域が分布している。間々下浦の海岸線付近に、幅約 100～400m で黄緑色の変色水域が分布している（写真 3）。鼻戸崎から神渡鼻かけての海岸線に沿って、幅約 100～400m で黄緑色の変色水域が分布している。また、羽伏浦の海岸線に沿って、幅約 300～400m で青白色の変色水域が分布している。
神津島	2014/10/17	海上保安庁	返浜付近の海岸線に沿って、幅約 50～100m で青白色の変色水域が分布している。神津島港内に黄緑色の変色水域を確認した。また、多幸湾内の海岸線付近に、幅約 50m、沖合に向け長さ約 50～100m で青白色の変色水域が 3ヶ所分布している（写真 4）。
三宅島	2014/10/17	海上保安庁	雄山火口底の南側に、弱い白色噴気を 2ヶ所確認した（写真 5）。大船戸湾内の海岸線付近に、幅約 150～500m、沖合に向け長さ約 600m の帯状の変色水域が、黄褐色から黄緑色に変化して分布している。大崎の東側海岸線付近、六

\* 2014 年 12 月 11 日受付

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			双根の北側海岸線付近、大鼻の海岸線付近、新鼻からツル根岬の海岸線付近、三池港付近及びアノウ崎からサトー岬にかけての海岸線付近で、それぞれ黄緑色の変色水域を認めた。
御蔵島	2014/10/17	海上保安庁	御蔵島港西側の海岸線に青白色の変色水域を、スバル岩付近から北側へ幅約 200～300m長さ約 2,000mの帯状で薄黄緑色の変色水域を認めた(写真 6)。
八丈島	2014/10/15	海上保安庁	八丈島の数力所の海岸線付近で変色水域を認めた。 底土湾、今根ヶ鼻の北側(写真 7)及び南側、汐間海岸から小岩戸ヶ鼻、小岩戸ヶ鼻北西岸、豊根、奈古ノ鼻及び八重根港南に薄黄緑色の変色水域を認めた。
青ヶ島	2014/10/15	海上保安庁	黒崎の海岸線に沿って、幅約 150mで褐色の変色水域が分布している(写真 8)。青ヶ島北東側からタツ根南側の海岸線に沿って、幅約 50～100mで黄緑色の変色水域が分布している。青ヶ島南東側から青ヶ島港南側の海岸線に沿って、幅約 700mで褐色から薄い黄緑色に変化して分布している。黒根から黒崎の海岸線に沿って、幅約 150mで黄緑色の変色水域が分布している。
明神礁	2014/10/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
ベヨネース列岩	2014/10/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
白根	2014/10/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
須美寿島	2014/10/15	海上保安庁	須美寿島の北西側と南東側(写真 9)に青白色の変色水域を認めた。
伊豆鳥島	2014/10/15	海上保安庁	硫黄山の火口付近に噴気・噴煙は認められなかった。伊豆鳥島の千歳浦から浜ヶ浜北小島付近の海岸線に沿って、青白色で幅約 300～500m、燕崎から南崎の海岸線付近から薄い黄緑色で帯状に南東方向へ幅 500m(写真 10)、長さ約 1,500m、兵庫浦から船見岬の海岸線に薄い黄緑色で幅約 200～500mの変色水域を認めた。
孀婦岩	2014/10/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
西之島	2014/ 6 /11	海上自衛隊	第 2 火口の東側に青白色の噴煙を噴出し火口から溶岩流を南東方向に流出する新たな第 4 火口を認めた。第 2 火口及び 5 月 21 日に確認された第 3 火口からは、灰白色の噴煙を放出していた。この噴煙は北東方向へ長さ約 6,000mで流出している。 西之島の海岸線付近に、褐色の変色水域が分布している場所を認めた。

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
西之島	2014/ 6 /13	海上保安庁	<p>第 1 火口は噴煙等の活動は認められないが、火口付近及び山腹から水蒸気が発生している。第 2 火口では約 10 秒毎に噴火を繰り返し、褐色を帯びた白色噴煙を噴出している。第 3 火口では、青白色の噴煙を噴出し、間歇的に赤熱した溶岩片を火口縁から高さ約 50～100mの高さに放出している。第 4 火口では、青白色の噴煙を連続的に噴出し、火口の直径約 10～20m（目測値）で火口内は溶岩に満たされた溶岩湖の状態を呈している。第 2～4 火口から噴出された噴煙は、南東方向に流出し雲高約 550mの中に没している。</p> <p>新たな陸地の東岸 1 カ所と西岸 1 カ所に水蒸気を上げている場所を確認した。西之島東岸の溶岩流と接合場所付近から旧島北岸を経て西之島西岸にかけた海岸線付近一帯に距岸約 200～400mの緑色の変色水域が分布している。</p> <p>熱赤外画像で第 2～4 火口から激しく溶岩片を吹き上げるストロンボリ式噴火を確認した。溶岩流は第 4 火口付近から南東方向に途中で 3 方向へ分岐しながら扇状に拡大している。西岸の水蒸気が発生している付近の溶岩流先端部は高温となっていた。なお、西之島南海丘付近に、変色水域等の特異事象は認められなかった。</p>
西之島	2014/ 7 /23	海上保安庁	<p>西之島東岸に新たな第 5 火口を確認した。第 5 火口は灰白色の噴煙を連続的に噴出しており、火口からは東方向へ 2 本の溶岩流が流出している。第 2 火口は灰色の噴煙を噴出し、2～3 分毎に爆発している。第 3 火口は青白色の噴煙を噴出している。第 1 火口に、噴気・噴煙は認められなかった。第 4 火口は、溶岩流等に埋没して確認できず。</p> <p>溶岩流は東方向へ延伸中で海面に接する溶岩流先端部では、盛んに水蒸気を上げている。</p> <p>新たな陸地が、溶岩流により 5 月 21 日の調査時と比較して東方向へ約 30～280m 沖合へ延伸している。新たな陸地の大きさは東西方向に約 1,550m、南北方向に約 1,050m、面積は約 1.08km<sup>2</sup>であった（計測値は概算値）。</p> <p>変色水域は、西之島の東部から北東に帯状で茶褐色から薄い褐色に変化しながら、長さ約 1,000～2,000m、幅約 500m で分布している。また西之島周辺の海岸に沿って、幅約 100～500m の褐色から黄緑色の変色水域が分布している。</p> <p>各火口の温度は、第 2 火口で約 200、第 3 火口で約 150、第 5 火口で約 317 だった。第 1 火口に噴気・噴煙は認められなかったが、火口内では周囲の温度よりも 30</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			<p>以上高温の約78であった。第2火口の山体に、周囲の温度よりも約40～70高温の熱以上を数力所確認した。第5火口の溶岩流先端部である海岸付近では、周囲の海水温度よりも約6～高い約27であった。他の変色水域でも、周囲の海水温度よりも約3～高い約25を確認した。なお、西之島南東区域は噴煙に覆われていたため有効な熱赤外線計測が出来なかった。</p>
西之島	2014/ 8 /26	海上保安庁	<p>第2火口は、7月23日と比べて拡大し、火口内に溶岩マウンドが形成されていることが確認された(写真11)。この溶岩マウンドは楕円形に近い形状で大きさ長径約90m、短径約60mで、南東側に直径約40mの丸餅のような円形の高まりがある。この高まりの頂部付近からは、約3～4分毎に溶岩片を含む白色の噴煙を噴出しており、熱赤外画像及び熱計測によると噴煙の噴出部付近は高温となっており、最高温度は約220であった。</p> <p>第2火口の東側に新たな第6火口が認められた。火口内には、赤熱部が認められ連続して白色の噴煙を噴出しているが、溶岩片の飛散は認められなかった。この第6火口からは、東海岸に達する溶岩流を流出して、海面に接する先端部で水蒸気を上げており、この先端部付近の水温は、周囲の水温より約4～高い約25であった。この第6火口の最高温度は約280であった。</p> <p>第3火口では、活発な噴火活動は認められず火口内壁の西側数力所から火山性ガスと思われる青白色の噴気を放出している。この噴気の放出場所では、付近と比べやや高温の約70～82であった。</p> <p>第1火口は、前回の観測時と変化なく噴気・噴煙等の噴火活動は認められなかったが、2つの火口内の温度は周囲の温度よりも30以上高温の約63であった。</p> <p>第5火口では、噴気・噴煙等の放出及び新たな溶岩の流出は認められなかった。</p> <p>新たな陸地は、溶岩流により7月23日の調査時と比較して北東方向へ約200～250m沖合へ延伸している。計測の結果、新たな陸地の大きさは東西方向に約1,570m、南北方向に約1,230m、面積は約1.21km<sup>2</sup>であった(計測値は概算値)。</p> <p>また、西側と南側の海岸線では、波浪によるものと思われる浸食により、溶岩流先端などで崩落し、7月23日と比べて約10～20m後退している場所がある。</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			<p>熱赤外画像で西側溶岩流先端の比較的新鮮と思われる崩落場所 2 ヶ所で熱異常を確認した。この崩落場所付近で溶岩流の割れ目及び噴気孔による高温域が認められる。</p> <p>新たな陸地の西側への溶岩流の大規模な供給は確認されていないが、溶岩流表面や海水に接している部分は冷却されているものの、溶岩流の内部はある程度高温であることを示している。</p> <p>なお、空中写真の実体視観測や目視観測結果からは、新たな陸地及び西之島本島に大規模な崩落を惹起させるような地割れ、沈降等の特異な地形変化は認められない。</p> <p>変色水域は、西之島の北東側と南西側の 2 カ所に分布している。北東側の変色水域は、北東岸から南東に向け、帯状で幅約700m、長さ約2,000m以上で、茶褐色から黄緑色に変化しながら分布している。海岸線に近い茶褐色の場所では付近海域の水温よりも約 3 高い約24 であった。</p> <p>南西側の変色水域は、南西岸から南岸に沿って、幅約 100 ~ 200mで褐色から黄緑色の変色水域が分布し、南側海岸線中間付近の沖合に南西方向に伸びる帯状で長さ約 700 ~ 800 m、幅約 100 ~ 200mの薄い黄緑色の変色水域が分布している。この変色水域には付近海域との水温変化は認められなかった。</p>
西之島	2014/ 9 /12	海上自衛隊	<p>西之島中央部の山体頂部から褐色の噴煙が噴出しているのを認めた。溶岩流は、北東から北方向に延伸している。西之島の北東側、西側及び南西側の 3 ヶ所で変色水域を確認した。</p> <p>北東岸の変色水域は茶褐色で、東方向に帯状で幅約 100 m、長さ約 500mで分布している。西之島西側の変色水域は黄緑色で、海岸線に沿って幅約 50 ~ 100mで分布している。西之島南西側の変色水域は黄褐色で、海岸線に沿って幅約 20 ~ 100mで分布している。</p>
西之島	2014/ 9 /17	海上保安庁	<p>8月26日に確認された溶岩マウンドは一部を残して、溶岩マウンドの北側に形成された新たな火砕丘に埋没しているのを確認した。この新たな火砕丘の北側に、北緯 27-14.66、東経140-52.74と北緯27-14.63、東経140-52.74（位置は概位）の間に約30m間隔で並んだ 3 個の火孔を持つ第 7 火口を認めた。この第 7 火口からは、噴煙を伴った溶岩ブロック及び溶岩片を火口縁から約100mの高さまで連続的に噴出している。噴煙は褐色で高度約1,400mまで達</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			<p>し、東方向へ約10kmに伸びている。第7火口内の3カ所の火口の温度は、約200 ~ 310 であった。</p> <p>第7火口の最下部の火口から溶岩流が北向きに流出し、末端部は扇状に広がりほぼ西之島旧島を覆っている。この溶岩流の一部は海岸線に達しており、先端部付近の水温は、周囲の水温より約3 高い約24 であった。なお、この第7火口の溶岩流以外には温度異常は確認できなかった。</p> <p>新たな陸地は溶岩流により8月26日の調査時と比較して北方向に約500m延伸し、その大きさは東西方向に約1,570 m、南北方向に約1,440m、面積は約1.49km<sup>2</sup>であり(計測値は概算値)、西之島全体に対する比率は約95%となった。</p> <p>西之島の変色水域は、北側、西側及び南側の3ヶ所に分布している。北側の変色水域は褐色で、北海岸から南東方向へ帯状に幅約400m、長さ約500mで分布している。西側の変色水域は褐色で、西岸一帯に幅約100~200mで分布している(写真12)。南側の変色水域は薄い緑色で、南海岸線付近に幅約50m~100mで分布している。</p> <p>西之島の南方海上の北緯27-10.82、東経140-53.39付近に直径約150mの円形で薄い緑色の変色水域が分布しており、熱赤外画像解析の結果、付近海面と比較して、若干低温であり海底から変色水が湧出していることを示している。</p> <p>溶岩マウンドの近傍に活発な活動を継続している第7火口があるため溶岩マウンドの爆発の可能性は低いと考えられる。また、空中写真の実体視観測や目視観測結果からは、新たな陸地及び西之島本島に大規模な崩落を惹起させるような地割れ、沈降等の特異な地形変化は認められない。</p>
西之島	2014/10/16	海上保安庁	<p>火砕丘頂部に1カ所ある火口から溶岩片を伴った褐色の噴煙を1分間に数回放出するストロンボリ式噴火を確認した。火口には9月17日に確認された火口列状の火孔は認められず、1カ所の播り鉢状地形を形成している。</p> <p>溶岩流は、火口がある火砕丘山腹の北側から北向きに扇型に拡大し、旧西之島を覆って海岸に達している(写真13)。熱計測画像の温度分布では、溶岩流先端部分に高温区域が分布している。</p> <p>変色水域は、薄い茶褐色で西之島の北岸、西岸、南西岸から西方向に幅約2,000m長さ約2,000mの帯状に分布している。変色水域の温度分布は、北岸の変色水域が周囲の温度と比較して0.5 から1 高い21.5 であった。</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			<p>なお、9月17日に変色水域が確認された西之島南海丘付近には変色水域等の特異事象は認められなかった。</p> <p>新たな陸地は、溶岩流により9月17日の調査時と比較して北方向へ約250～400m延伸し旧西之島のほとんどを埋没させ、大きさは東西方向に約1,530m、南北方向に約1,720m、面積は約1.85km<sup>2</sup>で9月17日から0.36km<sup>2</sup>拡大した（計測値は暫定値）。</p> <p>新たな陸地及び西之島本島に大規模な崩落を惹起させるような地割れ、沈降等の特異な地形変化は認められない。</p>
西之島	2014/10/17	海上保安庁	<p>火砕丘頂部に1ヶ所ある火口で、溶岩片を伴った褐色の噴煙を数秒毎に放出するストロンボリ式噴火を確認した。</p> <p>溶岩流は北向きに延伸しており、北海岸の溶岩流先端部では、水蒸気を数カ所上げている。</p> <p>変色水域は黄緑色で、西之島の北岸、西岸及び南西岸に幅約200～300mで分布している。</p>
海形海山	2014/10/17	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2014/ 6 /11	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2014/ 9 /12	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2014/10/17	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
北福德堆	2014/10/17	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2014/ 6 /11	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2014/ 6 /13	第三管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2014/ 6 /25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2014/ 9 /12	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
南硫黄島	2014/ 6 /13	第三管区 海上保安本部	南硫黄島西側海岸部周辺に変色水域を認めた（写真14）。
南日吉海山	2014/ 6 /11	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2014/ 6 /25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2014/ 9 /12	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2014/10/17	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2014/ 6 /11	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2014/ 6 /25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2014/ 9 /12	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2014/10/17	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
福神海山	2014/ 6 /11	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
福神海山	2014/ 9 /12	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。

## 南西諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
霧島山	2014/ 5 /28	海上保安庁	新燃岳火口内に数カ所に噴気を確認した(写真15)。新燃岳西側の割れ目噴気孔及び御鉢火口内は噴気を認めず。
霧島山	2014/ 7 /25	第十管区 海上保安本部	新燃岳火口内は、噴気・噴煙等の特異事象は認められず。御鉢火口については、雲のため調査できず。
若尊	2014/ 5 /28	海上保安庁	特異事象なし。
桜島	2014/ 5 /27	海上保安庁	南岳火口から青白色の噴煙を、昭和火口から白色の噴煙をそれぞれ確認した(写真16)。昭和火口の白色噴煙は、高度約1,200m、南東方向に長さ約6,000~7,000mで流れている。
桜島	2014/ 7 /25	第十管区 海上保安本部	南岳火口から白色の噴煙を確認した。噴煙は、北東方向に流れ付近の雲に没している。また昭和火口から灰色の噴煙を確認した。
開聞岳	2014/ 5 /27	海上保安庁	特異事象なし。
開聞岳	2014/ 7 /25	第十管区 海上保安本部	特異事象なし。
薩摩硫黄島	2014/ 5 /27	海上保安庁	<p>硫黄岳火口の噴煙は認められず、硫黄岳北側山腹及び硫黄岳火口南側上縁部に数カ所に白色の噴気を確認した。熱計測の結果、硫黄岳東側山腹に高温域が認められ、この高温域の最高温度は161.8 であった。</p> <p>硫黄島港から湯の滝の東500mまでの海岸線から沖合の南東方向へ帯状で幅約800m、長さ約2,300mの緑色の変色水域が分布している。硫黄島港内、磯松崎、東温泉付近は茶褐色で、湯の滝から東へ約500mの海岸付近は黄緑色の変色水域となっている。</p> <p>硫黄岳の南東側海岸から島の東岸にかけて約2,000mの海岸線付近に褐色の変色水域が分布し、沖合の北側へ帯状に長さ約3,000m、幅約500mで緑色に変化しながら分布している。</p> <p>穴之浜から平家城の海岸線には、白色の変色水域が帯状に北東方向へ幅約300m、長さ2,000mで分布している。</p> <p>昭和硫黄島では、北側中央部と南側中央部からそれぞれごく薄い黄緑色の変色水域が北東方向へ幅約300m長さ約300mに分布している(写真17)。昭和硫黄島南側中央部の変色水域が、周辺の海水温度19.0 ~19.5と比較して約0.5~1度ほど高いことを確認した(写真18)。</p>
薩摩硫黄島	2014/ 7 /25	第十管区 海上保安本部	硫黄岳西側壁山腹及び南東側山腹に白色の噴気それぞれ認めた。硫黄岳火口については、雲のため調査できず。硫



			<p>黄島港内、磯松崎及び稲村岳南東側の海岸に茶褐色の変色水域が分布している。稲村岳南東の海岸の変色水域は帯状で、幅約 160～250m、沖合に向け南東方向に長さ約 200m で分布している。東温泉付近及び湯の滝付近は黄緑色の変色水域が分布している。東温泉付近の変色水域は、沖合南方向に長さ約 250m の筋状に分布し、湯の滝付近の変色水域は、海岸に沿って幅約 50～100m で分布している。硫黄岳の南東側～東側の海岸付近の約 2,000m にわたって褐色の変色水域が分布している。穴之浜から平家城の海岸から帯状に東方向へ、幅約 400m、長さ 1,000m で白色の変色水域が分布している。</p>
薩摩硫黄島	2014/ 8 / 6	第十管区 海上保安本部	<p>硫黄島港内に茶褐色の変色水域が分布し、湯の滝から穴之浜にかけて幅約 100～400m で海岸線に沿って、褐色から黄緑色の変色水域が分布している。また、平家城付近の海岸線から沖合に向け、幅約 200～300m、長さ約 500～700m で、褐色から青白色の変色水域が分布している。(写真 19)</p>
口永良部島	2014/ 5 / 27	海上保安庁	<p>新岳火口内及び古岳火口内に数カ所の白色の噴気を確認した。割れ目噴火火口には噴気・噴煙を認めなかった。熱計測の結果、新岳火口内に 93.5 を確認した。新岳火口から北東方向へ約 500m にある高地(標高約 640m)の斜面に、周囲の温度(約 19～21 )と比較して高温である 36.9 の場所を認めた。古岳火口内の噴気を上げている箇所であった。ニシマザキからニシマザキの南南東へ約 1,000m の間の海岸線に沿って黄緑色の幅約 250m の変色水域が分布しているのを確認した。</p>
口永良部島	2014/ 7 / 25	第十管区 海上保安本部	<p>ニシマザキからニシマザキの南南東へ約 1,000m の間の海岸線に沿って、幅約 200m で黄緑色の変色水域が分布している。新岳及び古岳の火口内は、雲のため調査できず。</p>
口永良部島	2014/ 8 / 6	第十管区 海上保安本部	<p>新岳火口外西側から白色噴気が噴出しているのを確認した(写真 20)。また新岳火口内に灰色の噴煙を確認した。古岳の南東側～東側の海岸に沿って、幅約 400～1,000m で黄緑色の変色水域が分布している(写真 21)。古岳南側の海岸線に沿って約 400m、沖合へ約 800m に分布する褐色の変色水域(写真 22)を確認したが、温度異常はなかった。</p>
口永良部島	2014/ 8 / 10	第十管区 海上保安本部	<p>新岳火口及び火口西側割れ目から白色噴気が噴出しているのを確認した。新岳火口から南西方向と西北西方向の谷に沿って植生が茶色に変色している区域があるが、6日と比較して顕著な変化は認められない。 口永良部漁港内に薄い褐色の変色水域が分布している。</p>

			<p>ニシマザキの南約1,000mの海岸から口永良部漁港に向かって長さ約500m、幅約200～300mの帯状で薄褐色の変色水域が分布している。</p> <p>古岳南側の海岸線に沿って長さ約300m、沖合へ約200mの薄い褐色の変色水域が分布している。熱赤外画像によると、新岳火口南外側及び割れ目付近に高温部分が認められる。</p>
口永良部島	2014/ 8 /19	第十管区 海上保安本部	<p>新岳火口及び火口西側割れ目から白色噴気が噴出しているのを確認した。</p> <p>新岳火口から南西方向と西北西方向の谷に沿って植生が茶色に変色している区域があるが、10日と比較して顕著な変化は認められない。</p> <p>口永良部漁港内に薄い黄緑色の変色水域が分布している。またニシマザキから、ニシマザキ南約2,000mの海岸に沿って、幅約100～200mで薄い黄緑色の変色水域が分布している。</p>
口永良部島	2014/ 8 /21	第十管区 海上保安本部	<p>新岳火口から白色噴気が噴出しているのを確認した。また、火口西側割れ目にわずかな白色噴気を認めた。</p> <p>熱赤外画像では、新岳火口の南外側及び火口西側割れ目付近に高温部分が認められた。新岳火口から南西方向と西北西方向の谷に沿って植生が茶色に変色している区域があるが、19日と比較して顕著な変化は認められない。</p> <p>口永良部漁港内に黄緑色の変色水域が分布している。またニシマザキから、ニシマザキ南約2,000mの海岸に沿って、幅約100～200mで薄い黄緑色の変色水域が分布している。</p>
口永良部島	2014/ 8 /23	第十管区 海上保安本部	<p>新岳火口、火口西側割れ目及び火口南側割れ目で白色噴気を確認した。熱赤外画像では、新岳火口南外側及び割れ目付近に高温部分が認められる。新岳の南西から西にかけて植生が茶色に変色している区域があるが、21日と比較して顕著な変化は認められない。</p> <p>古岳火口にごくわずかな白色噴気を確認した。ニシマザキ南約2,000mの海岸に沿って、幅約50～100mでごく薄い黄緑色の変色水域が分布している。</p>
口永良部島	2014/ 9 /22	第十管区 海上保安本部	<p>新岳火口内4ヶ所、火口西側割れ目及び火口南側割れ目で白色噴気を確認した。熱赤外画像では、割れ目付近、新岳火口南外側及び新岳火口南西の山腹の3カ所に高温部分を認めた。古岳火口にごくわずかな白色噴気を確認した。新岳の南西から西にかけて植生が茶色に変色している区域</p>

			<p>は、8月23日と比較して、顕著な変化は認められない。</p> <p>口永良部漁港内に黄緑色の変色水域が分布している。ニシマザキ南約1,000～1,500mの海岸に沿って、幅約100～600mで黄緑色の変色水域が分布している。古岳南岸から南方向へ、幅約50～200m、長さ約300mの帯状で、薄い褐色の変色水域が分布しているが、熱赤外画像にでは周囲の海水の温度と比較して温度差は認められなかった。古岳東岸から南方向へ、幅約300m、長さ約1,500mの帯状で、黄緑色の変色水域が分布している。</p>
口之島	2014/ 5 /27	海上保安庁	<p>燃岳山頂付近の噴気孔には、噴気を認められなかった。</p> <p>熱計測の結果、燃岳山頂付近の噴気孔に高温域を確認し、周囲の温度(約18～19)と比較して約3 高い23.2であった(写真23)。島の周辺及び付近には、変色水域は認められなかった。</p>
口之島	2014/ 7 /25	第十管区 海上保安本部	<p>燃岳山頂付近の噴気孔には、噴気を認められなかった。</p> <p>燃岳南西側の海岸に帯状で、幅約200m、沖合南西方向に長さ約250mの黄緑色の変色水域が分布している(写真24)。タナギ山南東から大立神の海岸に沿って幅約50～200mの黄緑色の変色水域が分布している。</p>
中之島	2014/ 5 /27	海上保安庁	<p>御岳火口内の2カ所及び御岳東側斜面の噴気孔に白色の噴気(写真25)を認めた。熱計測の結果、御岳火口内北側の噴気を上げている箇所、周囲の温度が15～17 に対して、24.0 を確認し、御岳火口内南側の噴気を上げている箇所、37.6 を確認した。御岳東側斜面の噴気孔で29.0 を確認した。御岳火口から北東側約1,000mの斜面に、周囲の温度(17～18)と比較して約10 高い場所(最高温度28.0)を確認した。</p>
中之島	2014/ 7 /25	第十管区 海上保安本部	<p>御岳東側斜面の噴気孔に白色の噴気を認めた(写真26)。</p> <p>御岳火口は、雲のため調査できず。</p>
諏訪之瀬島	2014/ 5 /27	海上保安庁	<p>御岳火口内に薄い青白色の噴煙を確認した。噴煙は高度約950mで南方向に、長さ約3,500m以上流れている。熱計測の結果、火口内の最高温度は348.4 であった(写真27)。</p> <p>作地鼻から富立岳の東側海岸に黄緑色から緑色の変色水域が海岸線に沿って幅約50～100mで分布している。また、切石港と作地鼻の中間付近の海岸線に薄い黄緑色の幅約150mで分布しているのを確認した。さらにアカズミ付近海岸に海岸線に沿って幅約150mで分布している黄緑色の変色水域を確認した。</p>
諏訪之瀬島	2014/ 7 /25	十管区	<p>御岳火口内に白色噴気を確認した(写真28)。作地鼻付</p>

		海上保安本部	近の海岸に沿って長さ約 300mの褐色の変色水域が分布している。
横当島	2014/ 5 /25	海上保安庁	熱計測では、東峰火口内の南西側に 32.8 の周辺より約 10 高温の場所を確認した(写真 29)。 西峯と東峰の接合部南側の海岸に沿って、幅約 150mで黄緑色の変色水域が分布している。
横当島	2014/ 5 /27	海上保安庁	西峯と東峰の接合部の海岸に沿って、幅約 50～150mで黄緑色の変色水域が分布している。 横当島北東にある上ノ根島及び付近海域に特異事象を認められず。
横当島	2014/ 7 /25	第十管区 海上保安本部	東峰の陥没火口内には、噴気・噴煙等の特異事象は認められず。西峰と東峰の接合部南側の海岸に沿って、幅約 100 mで黄緑色の変色水域が分布している(写真 30)。
硫黄島	2014/ 5 /26	海上保安庁	硫黄岳火口内に水蒸気を確認した。熱計測の結果、火口内の最高温度は 32.9 であった。また、グスク火山付近は悪天候のため、噴気・噴煙等の特異事象は認めることはできず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 5 /25	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 6 /11	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 7 / 3	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 8 / 3	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 9 /10	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 9 /17	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/10/ 2	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。





写真3 新島 間々下浦の変色水域  
2014年10月17日 12:11 撮影

Photo.3 Discolored waters of Mamasita-Ura, Niihima Island.



写真4 神津島 多幸湾の変色水域  
2014年10月17日 12:25 撮影

Photo.4 Discolored waters of Tako-wan, Kozushima Island.



写真5 三宅島 雄山火口内の白色噴気  
2014年10月17日 12:41 撮影

Photo.5 White fumarolic gas in crater of Mt.O-yama, Miyakejima Island.



写真6 御蔵島 スバル岩付近の変色水域  
2014年10月17日 11:49 撮影

Photo.6 Discolored waters near of Subaru-iwa, Mikurashima Island.



写真7 八丈島 今根ヶ鼻北側の変色水域  
2014年10月15日 11:20 撮影

Photo.7 Discolored waters of north of Imanegahana, Hachijojima Island.



写真8 青ヶ島 黒崎付近の変色水域  
2014年10月15日 11:45 撮影

Photo.8 Discolored waters near of Kurosaki, Aogashima Island.



写真9 須美寿島 南東側の変色水域  
2014年10月15日 12:31 撮影

Photo.9 Discolored waters of southeast of Sumisu-jima Island.



写真10 伊豆鳥島 燕崎から南崎の変色水域  
2014年10月15日 12:34 撮影

Photo.10 Discolored waters of Tsubamesaki to Minamisaki, Izu-Torishima Island.



写真11 西之島 第2火口の溶岩マウンド  
2014年8月26日 11:40 撮影

Photo.11 Lava mound in the 2<sup>nd</sup> crater, Nishi-no-shima Island.



写真12 西之島 西岸の変色水域  
2014年9月17日 14:31 撮影

Photo.12 Discolored waters of west coast, Nishi-no-shima Island.



写真13 西之島 北側に流れる溶岩流  
2014年10月16日 12:57 撮影

Photo.13 Lava flow of north side, Nishi-no-shima Island.



写真14 南硫黄島 西側海岸部周辺の変色水域  
2014年6月13日 14:30 撮影

Photo.14 Discolored waters near of west coast, Minami-Ioto Island.



写真 15 霧島山 新燃岳火口  
2014年5月28日 09:01 撮影  
Photo.15 White fumarolic gas in crater of  
Shinmoe-dake, Mt.Kirisima -yama.



写真 16 桜島 昭和火口及び南岳  
2014年5月27日 14:27 撮影  
Photo.16 White plume of Showa crater and blue white  
plume of Minami-dake, Sakura-Jima Island.



写真 17 昭和硫黄島の変色水域  
2014年5月27日 13:37 撮影  
Photo.17 Discolored waters of Showa-Iojima Island.

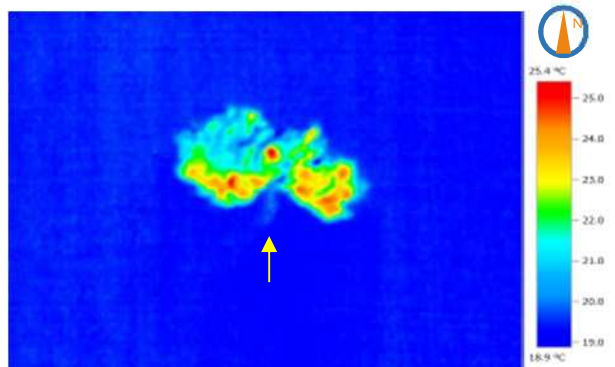


写真 18 昭和硫黄島の熱赤外画像  
2014年5月27日 13:37 撮影  
Photo.18 Thermal anomalies of Showa-Iojima Island.



写真 19 薩摩硫黄島の変色水域  
2014年8月6日 10:32 撮影  
Photo.19 Discolored waters of Satsuma-Iojima Island.



写真 20 口永良部島 新岳火口の白色噴気  
2014年8月6日 10:49 撮影  
Photo.20 White fumarolic gas in crater of Shin-dake,  
Kuchinoerabu-jima Island.





写真 21 口永良部島 南東側海岸の変色水域  
2014年8月6日 10:42 撮影

Photo.21 Discolored waters of southeast coast,  
Kuchinoerabu-jima Island.



写真 22 口永良部島 南側海岸の変色水域  
2014年8月6日 10:46 撮影

Photo.22 Discolored waters of south coast,  
Kuchinoerabu-jima Island.

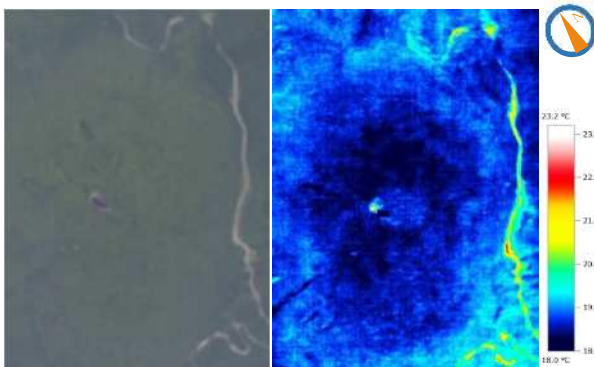


写真 23 口之島 燃岳垂直写真及び熱赤外画像  
2014年5月27日 10:19 撮影

Photo.23 Visible and Thermal image of Moe-dake,  
Kuchi-no-shima Island.



写真 24 口之島 南西側海岸付近の変色水域  
2014年7月25日 12:30 撮影

Photo.24 Discolored waters of southwest coast,  
Kuchi-no-shima Island.



写真 25 中之島 御岳火口付近  
2014年5月27日 12:54 撮影

Photo.25 White fumarolic gas at On-take,  
Naka-no-shima Island.

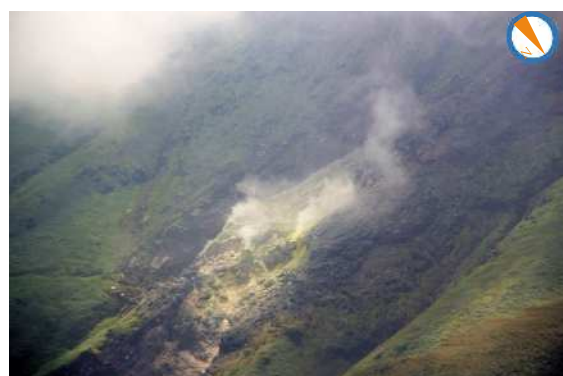


写真 26 中之島 御岳東側斜面噴気孔の白色噴気  
2014年7月25日 10:50 撮影

Photo.26 White fumarolic gas at east side of On-take,  
Naka-no-shima Island.

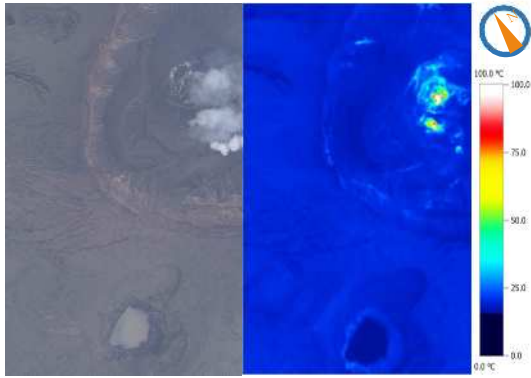


写真 27 諏訪之瀬島 御岳垂直写真及び熱赤外画像  
2014 年 5 月 27 日 11:02 撮影

Photo.27 Visible and Thermal infrared image of O-take,  
Suwanose-shima Island.

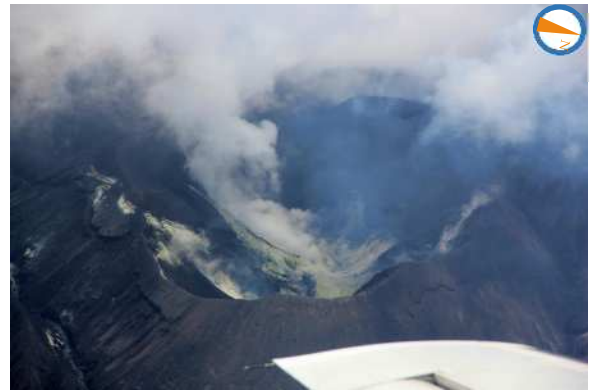


写真 28 諏訪之瀬島 御岳火口  
2014 年 7 月 25 日 14:03 撮影

Photo.28 White fumarolic gas in crater of O-take,  
Suwanose-shima Island.

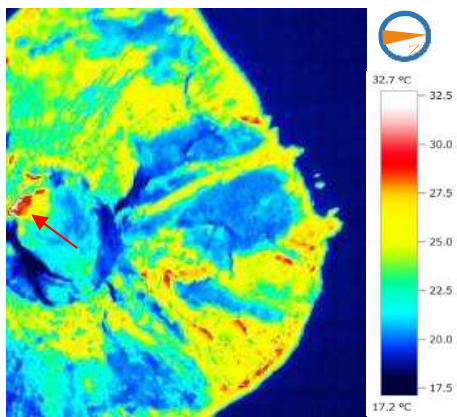


写真 29 横当島 東峰熱画像  
2014 年 5 月 25 日 12:17 撮影

Photo.29 Thermal anomalies at Higasi-mine,  
Yokoate-shima Island.



写真 30 横当島 島接合部の変色水域  
2014 年 7 月 25 日 13:33 撮影

Photo.30 Discolored waters of Yokoate-shima Island.